



学校だより

横浜市立釜利谷中学校
発行日 令和8年6月1日(月)
発行者 学校長 木村 典明
所在地 金沢区釜利谷南3-5-1
電話 784-7311 FAX 783-9762

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamariya/>

学校教育目標

人との関わりを大切にします。(徳、公)

生きるための学びを大切にします。(知、開)

心と命を大切にします。(体、徳)

※知(生きてはたらく知)・徳(豊かな心)・体(健やかな体)・公(公共心と社会参画)・開(未来を開く志)



「どうしたの？」

校長 木村 典明

私は幼いころから乗り物好きだったので、父が仕事から早く帰ってきたり休みだったりすると、よくドライブに連れて行ってもらったものです。家から20分ほど行ったところの新横浜駅が定番のドライブコースでした。駅前の広い通りに車を停めて、発着する新幹線を飽きもせず、ずっと見ているのが楽しくてしょうがありませんでした。

小学2年生の時、夏休みに車で旅行に行った際に、初めて車酔いをしました。それからしばらくは、車酔いをしたりしなかったりの繰り返しでしたが、小学5年生ぐらいになると近距離なら大丈夫なのですが、遠方に出かけると車でもバスでも必ず酔うようになり、旅行や校外学習に行くのが楽しみな一方で、車酔いすることがものすごく悩みの種となりました。でも、高校生になるとピタリとそれが治まり、2年生の時の修学旅行はバス移動が多かったのですが、全く酔わなかったのを覚えています。

車酔いが起きる原因はいくつかあるそうですが、その一つに耳の三半規管が関係していると言われていて、また、成長期(思春期)の心身の不安定さが、もともと持っている特性を強く表出させることも、医学的・心理学的に知られています。実は私は、父や祖母がそうだったように聴覚に少し特徴があり(精密検査では異常はないものの、自覚として感じるものがあります)、おそらく耳に遺伝的・体質的な要因があって、成長期に車酔いが強く出ていたのではないかと、今になって思っています。

子どもには、一人ひとり異なる心身の発達の仕方や特性があり、それが目立たないこともあれば、強く表れて本人の悩みや困り感につながることもあります。そのような時に、周囲の大人や友達がそのことに気づき、そっと寄り添えるかどうかは、とても大切なことです。

保護者の皆様、そして生徒の皆さんにお願いしたいのは、自分のお子さんや、隣にいる友達の「小さなサイン」に気づこうとすることです。例えば、いつもより口数が少ない、表情が硬い、好きだったことに興味を示さなくなった、理由ははっきりしないけれど何となく元気がない。そうした変化は、心や体からの「私は困っています!」という大切なメッセージであることがあります。

そのような時、「どうしたの?」と優しく声をかけるだけでも十分です。無理に聞き出す必要はありません。ただ、「あなたのことを気にかけているよ」という気持ちが伝わるのが、何よりの支えになります。また、「大丈夫、頑張れ」と励ますよりも、「そうなんだね、それはつらいね」と、そのまま受け止める言葉の方が、安心につながることもあります。

悩みは、必ずしもすぐに解決するものではありません。しかし、一人で抱え込まず、誰かとつながっていると感じられるだけで、心は少し軽くなります。私自身も、子どもの頃の経験を振り返ると、車酔いのことを両親が気にかけてくれたので、救われていたと感じます。

本校が大切にしている「人との関わり」とは、特別なことをすることではなく、こうした日々の中でのさりげない気づきや思いやりの積み重ねだと思います。誰かの困り感に気づき、そっと手を差し伸べられる、そんな温もりある関係が広がっていくことを願っています。



◇ 唯一無二の体育大会 —40周年記念体育大会無事終了—

5月25日(月)に、40周年記念体育大会が開催されました。21日(木)から天候不良で順延が続き、涼しい日が続いたと思ったら、当日は気温が上がってしまい、暑熱順化が不十分な中で熱中症を心配しながらの開催となりました。どの学年の生徒も、競技に力を出し尽くすことはもちろん、大会の運営がスムーズにいくように係活動もしっかりこなし、汗をにじませながら活動する姿から、私の頭の中では、中学生の時に体育祭のたびに歌わされた「若い力」(皆さん知りませんよね)の歌詞がリピート再生されていました。「♪若い力と感激に 燃えよ若人胸を張れ 歓喜あふれるユニフォーム 肩にひとひら花が散る 花も輝け希望に満ちて 競え青春強きもの♪」生徒のみんなが、若い力を燃やしつくした40周年にふさわしい感激の体育大会でした。

◆開会式「選手宣誓」より

我々、釜利谷中学校生徒一同は、日々クラスの仲間と協力し、今まで練習してきました。

私たちの頑張りとお熱い戦いを多くの皆さまに見ていただきたいです。

スローガンである唯一無二の体育大会にできるように大縄跳びでは40回以上を目指し、苦しくても足がつりそうになっても仲間と心を一つにします。

学年種目では勝敗がついてもフェアプレー精神で互いを称え合い、心から拍手を送り合います。

そして、栄えある40周年の体育大会が、中学校での最高の思い出になるように釜利谷中学校生徒全員で盛り上げ、楽しむことを誓います。

◆閉会式「実行委員長のことば」より

みなさん今日一日本当にお疲れさまでした。全ての競技を終えてどうでしたか。

私は学年練習の時に「全力で取り組み、全力で楽しみ、1、2年生も巻き込んで盛り上がる体育大会にしましょう」と3年生に伝えました。今日の皆さんの競技の姿や応援をしている姿を見て、その言葉通り、学年の枠を超えてた最高の盛り上がりを感じることができました。

結果として勝ち負けはつきましたが、競技でも裏方の仕事でも一人ひとりが自分の役割を全うしてとてもよかったなと思いました。

今日得た絆を大切にこれからの学校生活も頑張りましょう。

引用：「若い力」 作詞 佐伯孝夫 作曲 高田信一

◇頑張ったね！ -部活動の成績-

○硬式テニス



横浜ブロックテニス大会女子シングルス

本選出場 3年女子

第3位 2年女子

神奈川県大会女子シングルス

第5位 2年女子 関東大会出場予定!

◇お困りのことがあれば —スクールカウンセラーの利用について—

今年度も、中丸愛美先生と川間恵美先生がスクールカウンセラーとして、生徒や保護者の皆さんの心のケアをしてくれます。不登校、いじめ、虐待などの問題解決や早期発見、未然防止に携わったり、保護者の方が子どもの教育や育児に関する相談をしたりする際に、専門的な立場からアドバイスや支援を行ってくれます。原則、中丸先生は金曜日、川間先生は火曜日が相談日となっています。お困りのことがあれば、ぜひご相談ください。



【6・7・8月のSC勤務日】

中丸愛美SC 6/12・19・26 7/3・10・17 8/28 すべて金曜日

川間恵美SC 6/9・16 7/7・14・21・28 8/25 すべて火曜日

【申し込み方法】

事前予約が必要です。副校長天辰または生徒指導専任松田までご連絡（Tel 784-7311）ください。

◇卒業式の日程について

今年度の卒業式の日程は、3月10日（水）となります。公立高等学校の共通選抜が終わり、定通分割選抜や二次選抜が行われる間隙を縫って、実施します。黄色学年の生徒たちが、どんな素晴らしい旅立ちの姿を見せてくれるのか、今から楽しみです。

【※】夏季休業中の学校閉庁日の期間は学校への電話がつながりません。緊急な用件が発生した場合は、下記連絡先までお問い合わせください。

学校閉庁日 8月10日（月）～8月14日（金）

緊急連絡先 横浜市教育委員会南部学校教育事務所 Tel 045-843-6408（平日のみつながります）

次回の発行予定日は9月1日（火）です。